

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長崎県西彼杵郡長与町		代表者名	町長 吉田 慎一
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	095-801-5781
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	石川 俊介	連絡先E-mail
住所	851-2185 長崎県長与町659番地1			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体DX推進に係る認識共有・機運醸成のための講習会を実施するための事前打ち合わせを行った。今回の講習は、全職員を対象とし、管理職及び一般職員を分けて実施するよう依頼しており、当町の要望も盛り込んでいただくなど対象ごとに講習の内容を変えていただくことを確認した。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月21日	16時00分	17時30分		90
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	テレワーク制度、RPA及び文書管理システムの導入など自治体DXの推進を図っているが組織体制が整っておらず、全庁的・一体的な取組となっていない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXの基礎的な知識を深めるとともに、他自治体の導入事例を紹介いただくことで、「DXの認識共有・機運醸成」を図ることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講習会を行うに当たり、自治体DX推進計画の内容を説明するのではなく、自治体DXの基礎的な考え方をご教示いただくとともに、他自治体の導入事例を紹介いただくことで、より分かりやすい講習を行っていただく。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	当初は、自治体DX推進計画の内容を説明していただくよう検討していただき、他自治体の導入事例を紹介いただくことで、より分かりやすい講習になるものとする。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	講習内容の確認を行った。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行う内容ではなかったため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	自治体DXを全庁的に推進するに当たり、基礎的な共通理解の形成を図るための研修を行っていただき、全庁的な推進体制を構築し、業務効率化を図るとともに住民目線に立ったサービスを提供する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

